

平成21年4月10日現在

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2006～2009

課題番号：18520168

研究課題名(和文) 16世紀—18世紀イギリスにおける蒐集文化の研究

研究課題名(英文) Culture of Collecting in Sixteenth to Eighteenth Century England

研究代表者

吉原ゆかり (YOSHIHARA Yukari)

筑波大学・大学院人文社会科学部研究科・准教授

研究者番号：70249621

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：蒐集文化、イギリス、16世紀—17世紀

1. 研究計画の概要

16世紀-18世紀イギリスにおける蒐集文化を、学際的・分野横断的に研究する。文学と文学以外の文書を横断的にあつかい、文学研究から文化研究にその対象を展開させる。蒐集行為を、当該時期の科学史、政治史、国際関係や植民地支配(ポストコロニアル研究)と関係づける。当時イギリスの植民地(あるいは疑似した状況)下にあった、北米、インドはいうまでもなく、当時のイギリスと、東アジアとの関係に注目する。

2. 研究の進捗状況

18年度 活字資料の収集・整理(一次資料)資料収集・整理。アジア、イギリスとの文化交流研究まで視野に収める。

19年度 ウィーン、ロンドンで資料調査。16世紀—18世紀という三世紀全体を見渡した、蒐集文化の研究が、英語圏で近年活性化しており、本研究もその潮流に貢献大であることが明らかとなった。

20年度 筑波大学研究集会開催。本研究課題と科学史、医学史、ツーリズム、空想旅行記、大衆むけ見世物文化との関係について論議。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)当初は、16世紀～18世紀イギリスの蒐集文化に限定した研究計画であったが、本研究課題の対象が、1)地理的に拡大(ヨーロッパ全体、両アメリカ大陸、アジア)し、2)時代的に拡大(19世紀～20世紀も視野に収める)した。

4. 今後の研究の推進方策

当該研究課題に関する英語論文集を発行する。地域的・時代的にさらに視野を拡大した研究の方向性を探る。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計1件)

① Yukari Yoshihara, "Popular Shakespeare in Japan", *Shakespeare Survey*, 60巻, 2007年, pp.130-40、査読あり

[学会発表](計3件)

① Yukari Yoshihara, "Which is global, Shakespeare or Manga?" Reception and transformation of American / English Literature in Asia, 国立台湾大学, 2008年9月24日

② Yukari Yoshihara, "Is this Shakespeare?", Renderings: Shakespeare across Continents 於: ノッティンガム大学寧波校, 2008年9月11日

③ Yukari Yoshihara, "Shakespeare Localised / Japanised in the Age of Globalisation", VII World Shakespeare Congress, Brisbane, Australia, July 14, 2006

[図書](計3件)

① Yukari Yoshihara, "Kawakami

Otojiro's Trip to the West and Taiwan at the Turn of the Twentieth Century", S.Clark and P. Smerthurst eds. *Asian Crossings*. Hong Kong UP, pp.149-162, 2008 年, 査読あり

② 吉原ゆかり「英語で書かれた文学のインターカルチュラルな〈移動〉」筑波大学文化批評研究会編『テキストたちの旅程——移動と変容の中の文学』花書房、14-28 頁、2008 年、査読なし)

③ Yukari Yoshihara, "The Past, the Present and the Future of the project, 'English Studies in Asia' (introduction)" *English Studies in Asia*, Malaysia: Silverfish Books, pp.9-23, 2007 年、査読なし